

授業科目

福祉用具演習I（移動機器）

担当教員名 勝平 純司、加島 守	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	○

授業の概要

移動機器についての理解を深め、利用者に適した移動機器の選択をするために機能評価、用具の操作方法を学ぶ。また代表的な移動機器である車いすの理解を深めるため、評価、適合について学び、更に分解、組み立て、調整について学ぶ。

授業の目的

移動機器の操作方法・適合・調整について、実際に演習を行い体感することで、利用者に適した移動機器用を選定することを目的とする。
また、実際の車いすを分解・整備することで車いすの理解をより深める。

学習目標

1. 移動機器の種類、定義、役割について説明できる。
2. 利用者に適した移動機器を選択できる。
3. 移動機器（車いす）の工学的基礎・構造が説明できる。
4. 車いすの分解組立、調整ができる。
5. 移動機器の選択、適合に必要な利用者の姿勢の評価ができる。
6. 移乗機器と選択、動作の評価ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	起居演習（褥瘡の好発部位・ベットの機能）	講義および演習	勝平 純司
2	移乗演習（介助方法・介助力リフト）	講義および演習	勝平 純司
3	移乗演習（介助方法・介助力リフト）	講義および演習	勝平 純司
4	歩行補助用具演習（杖・歩行者・歩行車）	演習	加島 守
5	歩行補助用具演習（杖・歩行者・歩行車）	演習	加島 守
6	移動機器の工学的基礎	講義および演習	勝平 純司
7	車いすの選択、操作方法	講義および演習	勝平 純司 他
8	車いすの選択、操作方法	講義および演習	勝平 純司 他
9	車いすの採寸と適合・評価・介助	講義および演習	加島 守
10	車いすの採寸と適合・評価・介助	講義および演習	加島 守
11	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
12	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
13	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
14	車いす分解・整備	演習（外部講師）	勝平 純司
15	電動車いす試乗	講義および演習・質疑応答（外部講師）	勝平 純司

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	車いすのヒューマンデザイン	田中 理、大鍋 寿一 監訳	医学書院	2000年	4,500円 +税	
	Introduction to Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	R.A.Cooper、 H.Ohnabe、D.A.Hobson	Taylor and francis	2006年	6,700円 +税	

	福祉技術入門	後藤 芳一、足立 芳寛	Ohmsha	1998年	4,515円 +税	
その他の資料	プリント					

評価方法

レポート100%

履修上の留意点

原則、授業の1/3を欠席した者は科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を最終評価から減点する。

オフィスアワー・連絡先

授業開始時に担当教員より連絡